

# OPTIONS

ERSIS POINT 05

多彩なオプション装備



※写真はLEDヘッドライト装着車の作業イメージです

明るくて見やすく長寿命で省エネルギーも実現

## 各種LEDライト OPTION



LEDヘッドライト LEDコンビネーションライト

高い照度を誇り、省エネルギーかつ長寿命なLEDタイプのヘッドライト、リヤコンビネーションライトをオプションでご用意。明るい光で夜間作業時の操作性アップと安全性を高めます。

## 暗所で荷役作業をサポートするLEDスポットライト OPTION

明るいLED式のスポットライトをヘッドガード右上部に取り付け。書類の確認など手元を照らします。



## 周囲に存在を知らせるLED回転灯 OPTION

明るくて分かりやすく車両の存在を知らせるLED式の回転灯です。バック連動タイプもあります。



## 光で作業の安全・安心を守る後方警告ブルーライト OPTION

後進時に車体後方の床に青い光を照射し、周辺作業者にフォークリフトの接近や進行方向を光でお知らせします。



荷役作業時のレバー持ち替えが不要

## 荷役1本レバー(荷役モノレバー) OPTION

1本のレバーで、マスト上昇・下降・前傾・後傾の操作が可能なオプションです。

※通常の荷役レバーと操作方法が異なります。使用方法をご確認のうえ操作してください。

高揚高作業時のティルト水平操作をサポート

## フォーク水平自動停止(ティルト自動水平停止) OPTION

ティルトレバーのボタンスイッチを押しながらレバーを操作するとフォークを水平位置で自動停止。高所作業に慣れないオペレーターでも高揚高作業時のティルト水平操作を簡単に行えます。



ティルト自動水平ボタン

## フォークリフト運転者を限定簡易パスワードエントリー機能 OPTION

フォークリフトのオペレーターを、パスワードを持ったオペレーターのみで限定することができる安心機能です。部外者や無資格者による不慮の事故や車両の盗難などを防ぐことが可能になります。



## 指先操作で快適な作業を可能とするASC機能付きフィンガーチップコントローラー仕様(プロリフト仕様) OPTION

新たにリフトダウン開始時と停止時のマストの揺れを低減するASC(Active Sway Control)機能を搭載したリフトやティルトなどの荷役操作を指先の軽いタッチで行えるフィンガーチップコントローラー仕様。アームレストに腕を載せたままオペレーションをラクに行え、快適な作業が可能です。



## 暗所作業や高所作業の強い味方 レーザーポジショナー イチギメクン OPTION

フォーク水平時にレーザー光を照射し、目視でのフォーク高さを正確に把握。さらにマスト備え付けのLEDランプ点灯で、オペレーターにティルト水平を報せ、誤操作による破損やオペレーター負荷を低減します。



高負荷作業時の頼もしい味方

## 各種ブレーキ OPTION

ブレーキの温度上昇を抑制し制動性能を安定させる耐熱ブレーキや軽い踏力で大きな制動力を発生させるパワーブレーキなど各種ブレーキをオプション設定しています。

※設定車種について詳しくは担当営業までお問い合わせください。

## シートベルトの装着が一目でわかるオレンジシートベルト OPTION

遠くからも目立つオレンジ色のシートベルト。周囲から装着状態を容易に確認することができます。また、別オプションのシートベルトOFF走行インターロックと組み合わせれば、シートベルト未装着による事故防止が可能です。



パワフル登坂力でスロープもグイグイ登る

## 登坂力アップ仕様 DIESEL OPTION (トルコン車のみ)

スロープの登り下りが多いお客様向けに、より登坂性能をアップした登坂力アップ仕様をディーゼルエンジンモデルオプションとしてご用意。約40%アップ\*した登坂性能でスロープもグイグイ登り、ストレスフリーな作業が可能です。\*FDE25Pでの比較

FDE25P登坂能力(トルコン車負荷時)

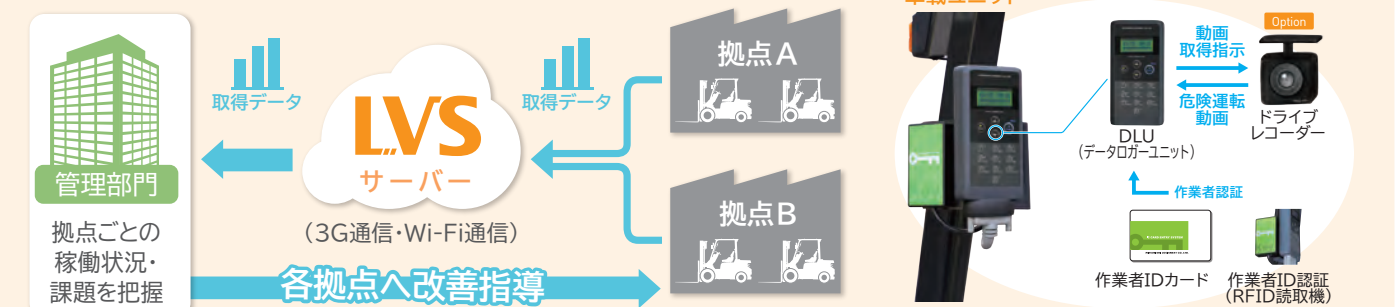
標準仕様	登坂力アップ仕様
27%	38%

# LVS

## 作業現場の「見える化」を実現する「LVS」 -フォークリフト稼働管理システム- OPTION

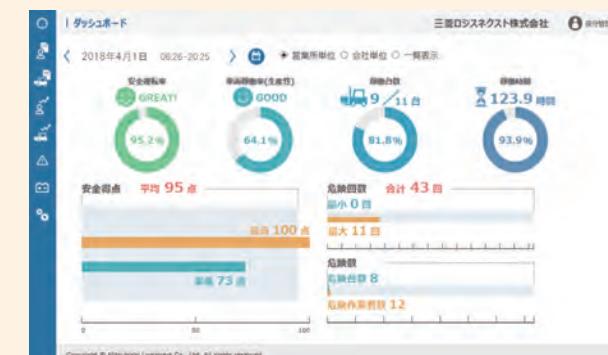


LVS(Logistics Vehicle Support)とはフォークリフトに専用の通信機器を取り付けることで、各拠点で保有している車両ごとの走行距離や荷役実績データをクラウドサーバー上で保存、管理することができるシステムです。目には見えない情報を数値化することで各車両、各拠点の稼働状況を把握し、その情報を元に物流現場改善へ繋げることができるオプションです。



### 取得可能データ 現場の状況をシステムで見える化!

- フォークリフト別稼働状況一覧
- 運転者別稼働状況一覧
- フォークリフト別日報月報
- 運転者別日報月報
- 危険操作状況一覧
- バッテリー状況一覧



システム画面例

適正な運用を実現することで

### 生産性を向上

車両の稼働時間や走行距離のデータから、車両の待ち時間やムダを把握し、拠点ごとに適正な車両台数を把握することができます。

稼働量を把握することで

### 安全性を向上

危険運転回数をカウントし稼働量を把握することで、安全運転の啓蒙・指導を行うことができます。また、オプションのドライブレコーダーと連携させることで事故発生時の原因究明に役立てることができます。

稼働状況や運用の把握で

### メンテナンス性を向上

稼働情報から使用頻度の高い車両に対して予防的な保守点検を実施することで、故障率の低減に貢献します。また、適切なバッテリー管理を行うことができます。